

# 鉄道ピクトリアル

2008年11月号 Vol.58 No.11 通巻No.811

## <特集> 1等寝台車

### ■表 紙 A寝台個室車を連結した「富士」……………編 集 部

東京 2008-9-1  
キヤノンEOS-1Ds Mk II EF16-35mm F2.8L II  
絞りf8 タイム1/15 ストロボ使用 ISO800 RAW

### ■グラフ

#### 1ランク上の夢見を(1~7ページ)

久保 敏・浜村正弘・緒環一暁・関川恒司	.....	編 集 部
石原裕紀・関根敏男・池田嘉晃・尾崎 渉	.....	
神田竜司・真鍋裕司・山中 茂	.....	編 集 部
思い出の口ネ(8ページ) .....	.....	太田正行・久保 敏

\*

戦前形1・2等寝台の客室内 .....	構成:久保 敏	25
一等寝台車(イネ)活躍の頃 .....	伊藤 昭・伊藤威信	28
旧形イネ・口ネの系譜 .....	構成:編集部	30
軽量客車以降の国鉄形近代口ネ .....	写真:久保 敏ほか	36

\*

Pictorial Color Gallery 時空を駆けて—C57 1礼賛— .....	長谷 佳敬	73
「JR北海道新型DMV試験車921号／名古屋鉄道4000系／JR 東日本横浜総合訓練センター訓練車／上田電鉄1000系営業」	76~81	
開始／新幹線21-2号車を吹田から大宮へ輸送ほか		
トピック・フォト(各地・関東・中部・関西) .....	82	
終焉迫る少数派相模鉄道5000系 .....	大里 信之	90
東急車輛 横浜製作所で旧東急デハ5201 永久保存に .....	構成:編集部	92
D51その一族—1115分の1の素顔—(第98回) .....	構成:編集部	94
タイ国 鉄道の旅 .....	今津 直久	96

### ■本文

今月の話題:1等寝台車 .....	編 集 部	9
イネ 口ネに憧れて .....	岩成 政和	10
「きたぐに」に運用されるサロネ581に乗る .....	真鍋 裕司	18
保存オロネ10を訪ねて .....	山田 亮	22
青帯寝台車の時代 1950年代の編成ノートから .....	和久田康雄	41
鋼製客車のイネと口ネ .....	中村 光司	44
A口ネ, B口ネ, C口ネの時代 .....	三宅 俊彦	52

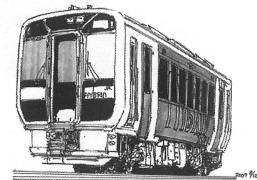
\*

交流電化のふるさと仙山線—甦る鉄道遺産 .....	松本義弘・白石秀男	61
私の鉄道人生75年史 第23回 車両部長の仕事 .....	里田 啓	68
鉄道の話題 .....	編 集 部	72
書評(540)『電車の運転 運転士が語る鉄道のしくみ』 .....	曾根 悟	97

#### 富山市内の路面電車環状化事業について

.....堀川 淳・古谷 聰・黒瀬信弘	98	
600V時代の名鉄西尾蒲郡線(後編) .....	白井 昭	106
「ニュース」を求めて—趣味のタイ国 鉄道の旅 .....	今津 直久	112
8月のメモ帳 .....		118
読者短信・情報ファイル .....		119
後部車から .....		123

ISSN0040-4047  
Tetsudō pikutoriaru



カット:山本茂樹

### 今月の話題

### 1等寝台車

鉄道輸送の高速化の進展、利用者ニーズの変化など、さまざまな事柄を背景に夜行列車は今日減少の一途をたどっている。夜行列車がそうした状況であるから、寝台車両も当然のことながら両数を減じている。寝台車は、今日の夜行利用では一般的な車種であるが、かつての20系固定編成客車の時代には「動くホテル」とも称され、夜行列車の憧れの的、いわば贅沢な乗り物と認識されたものである。そうした贅沢な寝台車の中でも、さらにいっそう贅沢で、庶民には遠い存在であったのが1等寝台車、すなわちイネあるいは口ネであると言えよう。

寝台車の発祥は1900(明治33)年、鉄道国有化前の山陽鉄道で導入されたものであるが、その始まりは1等寝台車であった。以来、戦後に至るまで多彩な設備を有する1等寝台「イネ」、2等寝台「口ネ」が登場したが、その位置づけとしての変遷は多少複雑である。1955(昭和30)年にはそれまでのイネは、すべて2等寝台口ネとなり、さらに1961(昭和36)年には3等級制から2等級制への移行とともに、口ネを1等寝台と称し、1967(昭和42)年には等級制の廃止でA寝台へと移り変わってきた。

今日、標準クラスであるB寝台ハネは、往年の口ネに匹敵する設備やサービスで数少なくなった夜行列車の旅を演出しているが、その中にあってA寝台口ネは、今もワンランク上の高いグレードを持つ寝台車として親しまれており、長い歴史を育んだ口ネならではの雰囲気を感じ取ることができる。それは車両技術の面においても、鉄道文化として見ても独特で、寝台車をめぐる大きな興味のひとつとなっている。本特集ではイネ、口ネを包括して「1等寝台車」と位置づけて記録したものである。

TETSUDŌ TOSHO KANKOKAI  
Oak Ochanomizu Bldg., Kanda Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan